



テデオン乳剤

農林水産省登録 第18076号

適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テトラジホンを含む農薬の総使用回数
りんご	ハダニ類	500~1000倍	200~700ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
かんきつ	ミカンハダニ			収穫7日前まで			
すいか	ハダニ類		100~300ℓ/10a	収穫3日前まで			
きゅうり すい ないちご							
茶	カンザワハダニ		200~400ℓ/10a	摘採30日前まで	1回		1回
花き類・ 観葉植物	ハダニ類	100~300ℓ/10a	発生初期	10回以内	10回以内		
すぎ	スギノハダニ	200~700ℓ/10a		2回以内	2回以内		



**⚠ 効果・薬害等の注意**

- ハダニ類発生前または発生初期の早期防除に使用する。卵及びふ化幼虫が多く成虫の少ない（1葉当たり1～2匹）時期に散布する。
- そさい類などに使用する場合は濃度を濃く（500倍）使用する。
- メロンに対して薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合はかからないように注意する。
- ハダニ類は繁殖が早いので散布はかけ残しのないようていねいに行う。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

⚠ 安全使用上の注意

- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので、薬剤が皮膚に付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 街路、公園等では使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

治療法…該当なし

魚毒性等…通常の使用方法では問題ない。

保管…密栓し、火気を避け、食品と区別して、直射日光が当たらない冷涼な所。

PRTR法

- 火災時は、適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。
- 漏出時は、保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
- 移送取扱いは、ていねいに行う。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。洗浄水はタンクに入れる。

